

# 国際生物多様性年緊急プロジェクト 救え! 諫早・泡瀬・長島の海

《参加団体》泡瀬干潟を守る連絡会・諫早干潟緊急救済本部／東京事務所・長島の自然を守る会



**VOL.1**

## シンポジウム「救え! 泡瀬干潟」(参加費 無料)

**3月21日(日) 18:00～ 会場: 沖縄市かりゆし園**

内容: 泡瀬干潟の生物多様性を守れ(泡瀬干潟の再生を)、沖縄市土地利用計画見直しの問題点、宣言採択ほか



## 3月21日(月・祝) 10:00～エクスカージョン

会場: ミナミコメツキガニの浜

カヌーによる干潟観察(フジイロ砂州と工事現場周辺)、午後/クビレミドロ・ミナミコメツキガニ・アーサなど干潟観察、ミナミコメツキガニの浜でのミニコンサートなど

●主催: 泡瀬干潟を守る連絡会(事務局TEL:090-5476-6628)

(干潟を守る日 2010 参加イベント)



**VOL.2**

## シンポジウム「生物多様性年」(参加費(資料代) 1000円)

～急ごう! 干潟救出と開門調査(仮)～

**4月10日(土) 13:00～17:30 会場: 長田みのり会館**

内容: 諫早干潟と有明海の生物多様性、沿岸湿地の開発と諫早湾水門開放を巡る戦い、調整池アオコ問題、宣言文採択ほか

**4月11日(日) 現地視察** (参加費(バス代) 1000円)

諫早新干拓地、潮受け堤防ほか

●主催: 諫早干潟緊急救済本部／干潟を守る日諫早実行委員会(事務局TEL:0957-23-3740)



(干潟を守る日 2010 参加イベント)



**VOL.3**

## シンポジウム「救え! いのちの海・上関」(参加費 500円)

～瀬戸内海の最後の豊かさが残る場所～

**5月1日(土) 13:30～16:30**

会場: 光市民ホール(小ホール) 山口県光市島田4丁目13番15号  
TEL(0833)72-1441

**5月2日(日) エクスカージョン 10:30～**

集合: 上関町蒲井港駐車場集合 (参加費実費)

内容: カムリウミスズメ&オオミズナギドリ調査、潮間帯生物調査、植生調査など

●主催: シンポジウム実行委員会(予定)

問い合わせ: 長島の自然を守る会／高島TEL:0820-62-0710／090-8995-8799



1997年4月14日の諫早湾潮止めから13年。生物多様性豊かな諫早干潟は消失し、有明海漁業に深刻な打撃を今も与え続けています。政権交代後も水門開放は実現されず、一刻も早い公約の実現が望まれています。南西諸島最大級の規模を誇る泡瀬干潟は、埋立工事が進み、10月の公金支出差し止め判決確定後も、事業完全中止までには至らず、干潟は堤防で囲われたままです。山口県上関町長島の海では、中国電力による原子力発電所建設が強行され、カムリウミスズメをはじめ多種多様な生物の宝庫となっている海域が埋め立てられようとしています。瀬戸内海で一番美しいと言われるこの海域は、周辺漁民にとっても生活の場となっており、埋立工事の中止が緊急の課題となっています。

2010年は国際生物多様性年。10月には名古屋で生物多様性条約第10回締約国会議(CBDCOP10)が開かれますが、持続可能な共生社会と相反し、人々の生活の脅威となっている諫早・泡瀬・長島の現状は、そうした生物多様性損失の象徴であり、ホスト国日本の姿勢が世界から厳しく問われるはずで

私たちは、このプロジェクトを通じて、CBDCOP10に向けて連携を強化し、諫早・泡瀬・長島の海に代表される日本の沿岸湿地の厳しい現状を世界にアピールしていきます。

【プロジェクト事務局(問い合わせ先)】陣内隆之(諫早干潟緊急救済東京事務所) 電話:090-8179-2123 Eメール:bi5t-jnni@asahi-net.or.jp  
【後援】WWFジャパン、日本自然保護協会、生物多様性条約市民ネットワーク、ラムサール・ネットワーク日本、日本湿地ネットワーク(順不同)

※このチラシは、バタゴニア日本支社のTシャツ販売による売り上げ支援を受けて作成しました。

●緊急シンポジウム● 連携イベント  
「いのちの海を埋め立てないで!!  
～瀬戸内・長島の海から  
自然との共生を考える～」  
5月9日(日)  
明治大学リパティーターワー1001教室

